

令和4年度第2回
七尾市健康福祉審議会地域福祉分科会
次 第

日 時 令和5年2月7日（火）
午後3時00分～
場 所 パトリア3階 会議室3、4

- 1 開 会
- 2 副会長の指名
- 3 説明・報告事項
（1）令和4年度の主な取組実績について
- 4 閉 会

七尾市健康福祉審議会 地域福祉分科会委員

◎会長 ○副会長

No.	氏 名	委 員 の 所 属	摘 要
1	えんやま けんいち 円山 賢一	七尾市町会連合会	審議会委員
2	おおまつ ひろかず 大松 博一	七尾市地区社会福祉協議会等連合会	
3	おおもり としひこ 大森 俊彦	市民代表	
4	おくい あつし 奥井 敦士	七尾市地域づくり協議会連合会	審議会委員
5	かわぶち ただし 川淵 正	七尾市ボランティア連絡協議会	
6	さの るみこ 佐野 留美子	七尾市女性団体協議会	
7	せんば えみこ 千場 恵美子	市民代表	
8	たかた れいこ 高田 礼子	七尾市健康まちづくり推進連絡会	
9	◎ つだ ひろみ 津田 博美	(福)七尾市社会福祉協議会	審議会委員
10	のざき はるお 野崎 春男	七尾鹿島保護区保護司会	
11	のだ ただゆき 野田 忠行	石川県能登中部保健福祉センター	
12	ひさき としお 久木 稔夫	七尾市老人クラブ連合会	
13	まつもと せいしん 松本 生辰	能登鹿北商工会	
14	やまざき しげや 山崎 茂彌	七尾市民生委員児童委員協議会	

※七尾市健康福祉審議会規則第7条により設置(運用は要綱による)

※任期:令和3年4月1日～令和6年3月31日

2 副会長の指名

副 会 長	
-------	--

○七尾市健康福祉審議会地域福祉分科会要綱

(会長及び副会長)

第5条 分科会に会長及び副会長を置き、会長は、委員の互選によりこれを選任し、副会長は、委員のうちから会長が指名する。

3 説明・報告事項

(1) 令和4年度の主な取組実績について

【令和4年度実績は令和4年12月末時点】

1-(1) 地域福祉体制の充実（基本施策）

① 相談支援体制の充実（取り組み）

■ 手話通訳者の設置

手話通訳者を設置し、手話により聴覚障害者の相談対応や諸手続きを行う。

	令和4年度実績	令和3年度実績
設置者数	正規職員 1人	正規職員 1人

■ 委託相談支援事業所の設置 3か所

指定一般・指定特定相談支援事業所に相談事業を委託し、障害者等からの様々な相談に対する適切な指導や助言、情報提供等を行う。

委託相談支援事業所

- ・さいこうえんの障害者生活支援センター（七尾市）
- ・ピアサポートのと（七尾市）
- ・相談支援事業所つばさ（中能登町）

■ 地域包括支援センターの設置 1か所

高齢者の総合相談窓口として、各種相談に応じるとともに、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を継続することができるよう、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行う。

■ 在宅介護支援センターの設置 7か所

在宅の要介護高齢者もしくは要介護となるおそれのある高齢者またはその家族に対し、在宅介護等に関する総合的な相談に応じるとともに、ニーズに対応した各種の保健及び福祉サービスが、総合的に受けられるように関係機関との連絡調整等を行う。

■ 子育て世代包括支援センターの設置 1か所

平成30年4月から子育て世代包括支援センターをパトリア「健康推進課」に設置し、子どもの健やかな成長のため、個々の妊産婦、家族の状況に応じて、地域の関係機関との連携しながら、切れ目のない支援を行う。

■ 七尾市社会福祉協議会総合相談窓口の設置

判断能力が十分でない方の困りごとや虐待防止、成年後見制度の利用に関する相談対応を行う。

■ 生活サポートセンターななおの設置

生活困窮者の様々な課題への一元的な対応を行う。

② 地域福祉ネットワークの充実（取り組み）

■ 民生委員との連携による高齢者世帯（一人暮らし、高齢者のみ世帯）の把握及び高齢者世帯台帳の作成

民生委員の協力を得て、高齢者世帯を把握し、見守りを行う。また、これらの世帯の緊急連絡先を把握し、事故などが発生した際に迅速に家族等へ連絡できるよう高齢者世帯台帳の作成を推進する。

■ 七尾市社会福祉協議会による地域福祉活動への支援

地域住民が主体となり、町会や民生委員・児童委員、地域福祉推進員などと連携しながら、ご近所における声かけなどの見守り活動を継続することで、要支援者の困りごとの早期発見早期対応ができる体制の構築を拡充する。

【実績】

地区	実施内容
御祓	研修会の開催（6月）
	先進地〔金沢市〕視察研修の開催（10月）
徳田	社会福祉法人松原愛育会（七尾更生園）との連携（中挟町会）
	先進地〔輪島市、穴水町〕視察研修の開催（10月）
	福祉マップづくり（千野町：10月、徳田町：11月）
東湊	地域福祉ネットワークの構築に係る研修会の実施（8月、12月）
西湊	福祉研修会の開催（7月）
崎山	福祉会議の開催（6月、8月、10月、12月）

③ 緊急連絡体制・支援体制の充実（取り組み）

■ 避難行動要支援者避難支援制度の普及促進

災害対策基本法で作成が義務付けられている避難行動要支援者名簿について、制度の周知と登録の呼びかけを行う。

（1）対象者

- ① 在宅で生活する75歳以上の方
- ② 介護保険における要介護3・4・5の方
- ③ 身体障害（身体障害者手帳1・2級）のある方
- ④ 知的障害（療育手帳A・B）のある方
- ⑤ 精神障害（精神保健福祉手帳1・2・3級）のある方
- ⑥ 高齢者（65歳以上）のみの世帯で上記①～⑤に該当しない方
- ⑦ 上記以外で災害時に自力での避難が困難な方

(2) 現状の登録者数

令和4年12月31日時点で2,617人が登録

【実績】

説明会の実施

- ・10月22日 生活・介護支援サポーター養成講座
- ・12月1日 令和4年度一斉改選民生委員・児童委員研修会
- ・11月～12月 各地区民生委員児童委員協議会（9地区）

制度の周知

- ・広報ななお6月号記事掲載
- ・ケーブルテレビななお「避難行動要支援者支援制度のお知らせ」

届出件数	令和4年度実績（12月末）	令和3年度実績
新規登録	152件	391件
修正	46件	251件
削除	76件	319件

■ 聴覚障害者緊急通報体制の整備

病気やケガ、火災などの緊急時にファクスやスマホアプリ（NET119）で消防本部に緊急通報した場合、手話通訳者が派遣され通訳を行う。

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
聴覚障害者登録者数	11人	12人

■ 七尾市社会福祉協議会による緊急ファイルの周知・配布

七尾鹿島消防本部と連携し作成したファイルで、居室や居間のテレビの近くなど生活時間の長い部屋に設置することで、救急隊到着時に、救急隊員や地域支援者が、家族の連絡先や本人の病気・服薬状況などを把握ができるようにしてある。また、災害等による避難時に携帯することで、避難先でも医療・介護情報を把握することができるため、高齢者や障がい者の見守りを目的とし全世帯設置を目指し周知・配布する。

【実績】

	令和4年度実績		令和2年度からの累積	
	緊急ファイル	医療・介護関連情報	緊急ファイル	医療・介護関連情報
配布数	535冊	534枚	3,808冊	4,207枚

④ 地域福祉活動団体への支援（取り組み）

■ 地域づくり協議会の研修会での説明

市の計画や施策の説明を通して、目指す姿を共有するとともに、地域住民の役割（自助、互助）、市の役割（公助）を認識し、取り組みを進めてもらう。

【実績】 地域福祉活動計画を基本とする活動への支援

15地区の地区社会福祉協議会(地域づくり協議会)を対象に、地区ごとの課題に対する活動計画の策定や福祉活動を支援し、その経費の一部を補助する。

七尾市社会福祉協議会による地域福祉活動への支援

- ・地区社会福祉協議会等活動助成
- ・よりあいの場立ち上げ助成
- ・地域福祉懇談会の開催助成
- ・地域福祉推進員研修の助成
- ・地区広報誌の発刊助成
- ・先駆的な福祉事業(地区社協活動計画の策定など)に対する活動助成 など

1-(2) 安心して暮らせるしくみづくり（基本施策）

① 社会参加の促進（取り組み）

■ 石川県障害者スポーツ大会等への参加促進

広報等で障害者スポーツ大会への参加を促し、参加者数の拡大に努める。

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
石川県障害者スポーツ大会参加者数	6人	大会中止

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止により令和3年度大会は中止

■ ふれあいスポーツ大会、障害者・高齢者風船バレーボール大会の開催

市主催のふれあいスポーツ大会及び障害者・高齢者風船バレーボール大会を開催、交流・社会参加の機会を創出する。

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
ふれあいスポーツ大会参加者数	大会中止	大会中止
障害者・高齢者風船バレーボール大会参加者数	大会中止	大会中止

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止により令和3、4年度大会中止

■ 手話通訳者・要約筆記者の派遣

聴覚障害者の意思疎通を支援するため、手話通訳者または要約筆記者を派遣し、自立と社会参加の促進を図る。

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
手話通訳者派遣件数	47件	48件
要約筆記者派遣件数	0件	0件

■ 老人クラブ活動支援

社会奉仕活動や健康増進活動等を実施する単位老人クラブの活動に対して、活動費の一部を補助する。（1クラブ年額46,560円 ※会員30人未満は半額）

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
単位老人クラブ数	83クラブ	83クラブ

② 介護支援体制の充実（取り組み）

■ 地域包括支援センターの設置 1か所（再掲）

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
総合相談支援実人数	470人	614人

■ 在宅介護支援センターの設置 7か所（再掲）

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
総合相談支援実人数	51人	46人

■ 家族介護者への支援

(1) 家族介護用品支給事業（紙おむつ等支給事業）

65歳以上の要介護3以上の常時失禁状態にある在宅寝たきり高齢者で、障害高齢者の日常生活自立度B、Cランクまたは認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ、ⅣまたはMと判定された、住民税非課税の方を対象に、紙おむつ等購入助成券（年3回、1回15,000円まで）を交付する。

【実績】

	令和4年度実績（5、9月）	令和3年度実績
申請者	464人	842人
決定者	388人	655人
利用者	342人	515人

(2) 在宅寝たきり高齢者福祉サービス

65歳以上の要介護3以上の在宅寝たきり高齢者で、障害高齢者の日常生活自立度B、Cランクの方（移送サービスについては、65歳以上の要介護4以上の在宅寝たきり高齢者で、住民税非課税世帯の方）を対象に、以下のサービスの費用を助成する。

- ・寝具乾燥洗濯消毒サービス（年4回）
- ・理髪サービス（年4回）
- ・移送サービス（月1回）

【実績】

	令和4年度実績（9月末時点）	令和3年度実績
寝具	35回	71回
理髪	112回	172回
移送	0回	5回

③ 生活支援体制の充実（取り組み）

■ 生活支援体制整備事業、生活支援コーディネーターの配置

地域ごとの生活支援・介護予防サービスの提供体制づくりを目的に、地域課題の把握、整理等を行う人材として、第1層及び第2層の生活支援コーディネーターを配置している。（第1層 市全体 第2層 15地区）

【実績】

第2層コーディネーター

	令和4年度実績	令和3年度実績
地域づくり協議会	8地区 11人	6地区 8人
市社会福祉協議会	6地区 2人	9地区 3人

■ 食の自立支援（配食サービス）事業

食事の用意が困難な65歳以上の高齢者に対し、栄養を考慮した食事（弁当）を自宅まで届けるとともに、安否の確認も行う。

【実績】

	令和4年度実績（11月末時点）	令和3年度実績
配食数	14,526回	21,786回

■ 七尾市地域福祉推進員の配置

概ね50世帯に1人の地域福祉推進員を七尾市社会福祉協議会長が委嘱し配置。（総数373人）

民生委員児童委員との連携活動で、見守りや生活支援の充実を図る。

④ 生活困窮者支援の充実（取り組み）

■ 生活困窮者への支援（生活困窮者自立支援法）

平成27年4月生活困窮者自立支援法施行に伴い、関係機関や地域の方と協力し、下記の事業を行う。

（1）自立相談支援事業（必須）

「生活サポートセンターななお」（パトリア3階 七尾市社会福祉協議会内）を設置している。生活困窮者からの相談に対し、生活全般にわたる包括的な支援を行うため、個人が抱える課題を分析し自立に向けたプランの作成や、関係機関との連絡調整等を行う。

【実績】

「生活サポートセンターななお」による相談支援

2人（主任相談支援員1人、相談支援員1人（就労支援員兼務））

新型コロナウイルス感染症の影響による生活不安者（減収や貸付返済）への相談支援

庁内体制：税務課での滞納相談、後期高齢者医療保険料や介護保険料の納付相談及び高齢者や子育てに関する相談の際にすみやかに利用勧奨できる体制とする。
 庁外体制：自立相談支援事業の運営機関としてハローワークと密接連携し、必要に応じて弁護士から多重債務等の教示等を受けることができる等の体制とする。

	令和4年度実績	令和3年度実績
新規相談人数	63人	152人
支援プラン策定	25件	29件
就労支援対象者数	7人	15人
	うち就労者数 6人	うち就労者数 6人
	増収者数 1人	増収者数 1人

・支援調整会議の開催（随時開催）

支援調整会議の協議事項については、①支援プランの内容協議及び検証、②支援計画に基づく支援内容の検証及び評価、③関係機関及び関係者等との連絡調整、④支援に必要な社会資源ネットワークの構築、⑤その他、支援対象者へのサービスの調整及び推進について協議することとする。

	令和4年度実績	令和3年度実績
支援調整会議	6回	9回
支援の継続	250件	221件
支援の終結状況	43件	59件
	うち 自立17件	うち 自立26件
	他制度移行11件	他制度移行 7件
	問合・助言 9件	問合・助言21件
	その他 6件	その他 5件

(2) 住居確保給付金（必須）

離職により住宅を失ったまたは、失うおそれの高い生活困窮者に対し、安定的に就職活動を行うことができるよう、有期で家賃相当額を支給する。

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
相談	18件	22件
給付	3件	14件
（単身世帯）	（1件）	（8件）
（複数世帯）	（1件）	（4件）
（3人以上世帯）	（1件）	（2件）

(3) 学習援助事業（任意）

生活困窮家庭の子どもに対して、学習の援助等の支援を行う。

【実績】

・取組内容

各教科（数学、英語）の支援時間を120分から90分に短縮し、生徒の集中力継続に取り組んだ。また支援体制については、学習支援員数を1人増加し、支援体制の強化を図った。

・対象者及び支援体制

	令和4年度実績	令和3年度実績
生活保護受給世帯の中学3年生	0人	0人
就学援助支給世帯の中学3年生	3人	3人
児童扶養手当支給世帯の中学3年生	7人	7人
学習支援員 教員OB	6人	5人

⑤ 成年後見制度の利用促進（取り組み）

■ 成年後見制度の広報や研修

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
広報（一般）	1回	1回
研修（一般）	1回	1回

■ 成年後見制度利用促進についての研修（予定）

【実績】

研修会 1回 1月25日（市、社協、地域包括、障害者相談支援事業所）

■ 成年後見制度研修会

【実績】

主 催 七尾市地域包括支援センター
開 催 日 令和4年11月24日（木）
参加人数 41人

■ 成年後見制度学習会

【実績】

主 催 七尾市社会福祉協議会
開 催 日 令和5年1月16日（月）高齢者編
令和5年1月23日（月）知的障がい者編
令和5年1月31日（火）精神障がい者編

⑥ 再犯防止に向けた取り組みの推進（取り組み）

■ 社会を明るくする運動の推進

強調月間（7月）に七尾鹿島保護区保護司会等と協力し運動を推進する。

■ 七尾鹿島保護区保護司会の活動支援

犯罪をした人の改善や更生を助ける活動などを行う七尾鹿島保護区保護司会（保護司34人）に対し、活動費の一部を補助する。

1-(3) 安心して生み育てられるしくみづくり（基本施策）

① 地域における子育て支援体制の構築（取り組み）

■ ファミリーサポートセンター事業の実施

子どもを見てほしい方（依頼会員）と育児の手助けをしたい方（協力会員）がお互いに助け合い、育児の相互援助を行う。

【実績】

委託先での事業

- ・ 保育施設の保育開始または保育終了後に依頼会員の自宅等で子どもの預かり
- ・ 保育施設までの送迎
- ・ 学校放課後の児童クラブまでの送迎
- ・ 冠婚葬祭等の行事の際の子どもの預かり

	令和4年度実績	令和3年度実績
協力会員	50人	77人
依頼会員	93人	106人
両方会員	3人	6人

■ 出産祝金 **拡充**

出生児1子につき、祝金として12万円を交付する。

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
対象者	133人	200人
支給額	15,960千円	4,000千円

※支給額 令和4年度 12万円（現金10万円＋商品券2万円分）
令和3年度 2万円（商品券2万円分）

■ 保育料の軽減 **拡充**

国・県の保育料の軽減策を更に拡充し、保護者の所得に関わらず0～2歳児クラスの保育料を、第2子半額、第3子以降無料とする。（令和4年度から実施）

【実績】

	令和4年度実績
第2子【半額】	230人
第3子【無料】	304人

※3歳児クラス以上は国制度で保育料無料

※国・県の制度により、既に半額または無料となっている者は除く

② 子どもの安全な居場所づくり（取り組み）

- 災害から児童を守るため、毎月、全ての園において、消火及び避難訓練、津波などを想定した風水害訓練を実施

【実績】

全ての園において、消火及び避難訓練、津波などを想定した風水害訓練を実施。

保育園・認定こども園 毎月（年12回）

	令和4年度実績	令和3年度実績
訓練実施	延べ162回	延べ252回
市内の保育園・認定こども園の数	18園	21園

③ 要保護児童へのきめ細かな対応（取り組み）

■ 要保護児童への支援

要保護児童に対する適切な支援体制の充実を図るために、各機関との連携を強化しながら、虐待防止や早期発見と対応への取り組みを行う。

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
代表者会議	1回	書面2回
実務者会議	2回	書面1回、対面2回
個別ケース検討会議	15回	13回
ケース進行管理会議	3回	4回

■ オレンジリボン周知活動

強化月間（11月）キャンペーンを通じたオレンジリボン周知活動

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
街頭キャンペーン	1回	0回
屋内キャンペーン	1回	1回

1-(4) 人にやさしい環境づくり（基本施策）

① ユニバーサルデザインの推進（取り組み）

■ 公共施設のバリアフリー化

【実績】

- ・七尾東部中学校 トイレ洋式化など
- ・能登島小学校 玄関昇降ロスロープ設置など

② 生活環境の充実（取り組み）

■ 住環境の整備

安心して自宅で暮らし続けることができるよう在宅支援型住宅リフォーム推進助成事業により、自宅のバリアフリー化を支援する。

（1）内容

在宅支援型住宅リフォーム推進事業により、身体・知的・精神に障害のある下記対象者のうち生活保護世帯又は住民税非課税世帯の者に対して最大100万円を補助する。

（2）対象者

- ① 身体障害者手帳1、2級（下肢、体幹機能障害又は乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害（移動機能障害に限る）は3級以上）所持者
- ② 療育手帳A所持者
- ③ 精神障害者保健福祉手帳1級所持者
- ④ 要介護認定、要支援認定を受けた者
- ⑤ 介護扶助の対象者

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
高齢者	3件	0件
障害者	0件	0件

③ 交通手段の確保（取り組み）

■ 重度障害者福祉タクシー利用助成事業

重度の障害者に対してタクシー利用料金を助成し、交通手段の確保及び社会参加の促進を図る。

（１）内容

助成件１枚につき３００円を助成。年間４０枚を交付。

（２）対象者

- ① 身体障害者手帳１、２、３級所持者のうち下肢、体幹又は視覚障害者。内部障害は１級所持者のみ
- ② 療育手帳Ａ所持者
- ③ 精神障害者保健福祉手帳１、２級所持者
※ただし、以下のいずれかに該当する場合は対象外
 - ・自動車税減免措置を受けている
 - ・施設に入所している
 - ・課税世帯である

【実績】

	令和４年度実績	令和３年度実績
交付者数	１６０人	１５８人
利用延べ件数	３，９８３件	４，２０６件

1-(5)適切な福祉サービスの利用促進（基本施策）

① 福祉サービスの利用に関する情報提供（取り組み）

- 高齢者福祉サービスちらし、高齢者福祉ガイドブックの配布
なるほどなっとく市政講座 43回開催 569人参加

② サービス利用に結び付いていない要支援者への対応（取り組み）

- 地域包括支援センター・在宅介護支援センターの相談支援の充実
地域包括支援センターや在宅介護支援センターとともに、地域での相談を受ける体制づくりを推進する。

【実績】

地域包括支援センターまたは在宅介護支援センター職員が地域へ出向き、相談を受ける体制づくりを推進する。

市内15地区コミュニティセンター等での「高齢者の身近な何でも相談窓口」の設置 各地区 2か月に1回実施

生活サポートセンターななお・生活福祉資金・福祉サービス利用支援事業によるワンストップサービスと関係機関との連携

	令和4年度実績	令和3年度実績
地域包括支援センター出張相談	15地区 56回	15地区 72回
相談件数	49件	47件

- 福祉サービス利用支援事業（日常生活自立支援事業）の実施

七尾市社会福祉協議会が石川県社会福祉協議会から受託し実施。判断能力が不十分な高齢者や障害のある方の日常的な金銭管理及び、福祉サービス利用に関する相談支援を行う。

③ 福祉サービスの質の確保（取り組み）

- 地域包括支援センター・在宅介護支援センターの相談支援の充実（再掲）

1-(6) 健康づくりの支援（基本施策）

① 地域における健康づくり活動の支援（取り組み）

■ 健康づくりに関する地区活動の推進

15地区の健康まちづくり推進連絡会と連携し、検（健）診の受診勧奨、生活習慣病予防や運動の教室開催など、健康づくり活動を推進する。

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
がん検診・特定健診の受診勧奨 訪問 集団	67回 1,567世帯 38回 755人	153回 5,666世帯 24回 346人
生活習慣病予防教室	48回 645人	83回 363人
野菜の摂り方の推進	21回 161人	33回 570人
ウォーキングの普及	35回 343人	68回 921人

2-(1) 地域福祉を支える人づくり（基本施策）

① 活動の中心となる人材の育成（取り組み）

■ 地区社会福祉協議会等連合会の運営及び会長研修の実施

12月3日（土）地域づくり協議会情報交換会「防災について」

② 活動の担い手となる人材の育成（取り組み）

■ 地域福祉の担い手育成

(1) シルバーリハビリ体操3級指導士養成講座の実施

住民同士の自助・互助の地域力を高め、健康寿命の延伸を図ることを目指し、地域の新たな担い手として活躍するリハビリ体操普及のボランティアを養成・育成する。

【実績】

実施期間 令和4年9月2日～9月27日 全6日計30時間
受講対象 応募があった市民（重点地区：御祓・西湊）

	令和4年度実績	令和3年度実績
受講者数	21人	25人
修了累計	21人	25人

(2) 生活・介護支援サポーター養成講座の実施

住民自らが、高齢者等の支援が必要な方のサポート(見守り、家事、訪問等)が行える担い手を養成する。

【実績】

実施期間 令和4年7月30日～12月3日 全9講座
受講対象 応募があった市民
講義内容 各種福祉施策の概要、認知症や権利擁護への理解、介護予防や地域福祉に関すること、傾聴、介護技術演習など

	令和4年度実績	令和3年度実績
修了者数	11人	15人
修了累計	380人	369人

(3) 認知症サポーター養成講座の実施

認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守り、地域等可能な範囲で支援をすることが出来る人材を養成する。

【実績】

受講対象 要望があった町会、商店、会社などのグループ
受講内容 認知症の症状や認知症の方と接するときの心構えなど

	令和4年度実績	令和3年度実績
開催回数	8回	8回
受講人数	132人	172人
受講累計	5,579人	5,447人

(4) ゲートキーパー養成講座の実施

自殺のサインを知り、対応(声かけ、話を聞く、必要な支援に繋げる、見守り)が出来る人材を養成する。

【実績】

受講者 民生委員児童委員等
講座内容 市内における自殺の現状、自殺予防に向けて自分ができること(自殺につながるサインや状況、自殺を防ぐための有効な方法)

	令和4年度実績	令和3年度実績
開催回数	2回	1回
受講人数	214人	10人
受講累計	2,021人	1,807人

- (5) 民生委員児童委員、地域福祉推進員等地域福祉の担い手支援
現状の課題を踏まえ、必要な研修を実施し活動を支援する。

【実績】

- ・七尾市民生委員児童委員協議会夏期研修会 8月23日(火)
テーマ① 地域福祉計画・地域福祉活動計画の説明
テーマ② 七尾市の防災・減災を考える：一人ひとりのかけがえのなさの視点から(講師：北陸学院大学人間総合学部社会学科 田中純一教授)
内 容 災害時に民生委員が期待される役割と日頃からできる事、相互に協力できる地域の体制作りについて学ぶ

- ・七尾市民生委員児童委員協議会会長研修会 11月 1日(火)
テーマ 意見交換
内 容 一斉改選に際し、振り返りと今後の期待、引継ぎ等の意見交換

- ・七尾市民生委員児童委員協議会冬期研修会 ※2月開催予定

- ・地域福祉推進員研修 14地区16回

■ ボランティアセンターによるボランティア養成講座の実施

【実績】

- ① 傾聴ボランティア養成講座の実施
主 旨 相手を尊重し、「肯定・共感」しながら「聴く」心構えをもつ人材を養成する。
主 催 七尾市社会福祉協議会
開催日 令和4年11月26日(土) 講義①
令和4年12月10日(土) 講義②
令和4年12月17日(土) 演習
修了者 15人

- ② 災害ボランティア養成講座(3月実施予定)

- ③ 衛生講習及び調理講習(会食・配食ボランティア対象)(2月実施予定)

2-(2) 支え合う意識づくり（基本施策）

① 広報・啓発活動の充実（取り組み）

■ ななお健康&福祉まつりの開催

令和4年度は七尾市内の保健・医療・福祉に関わる機関や事業所の取り組みや、住民による福祉活動等を広く市民に紹介し、地域の健康&福祉の機運を高めることを目的とし開催。パトリア1階とミナ・クル1階に2週間展示ブースを設置し、25団体が展示を行った。



② 福祉教育の充実（取り組み）

■ 七尾市社会福祉協議会による福祉体験出前講座

車イス体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験を通じて、バリアフリーの知識や心を養うことを目的に、学校、企業等を対象に福祉への理解を深めるための出前講座を実施する。



【実績】

- ・市内小中学校の総合学習と連携
- ・各種企業の新入社員の研修に協力

	令和4年度実績	令和3年度実績
実施した学校・企業数	小学校1校・企業1社	小学校1校・企業1社
参加者数	56人	106人

③ 体験学習の充実（取り組み）

■ 手話出前講座事業

平成31年4月に施行した七尾市手話言語条例に基づき、手話への理解を深めるため、小学生向けに手話講座を実施する。



【実績】

市内小学校全10校に出前手話講座の開催を案内し、依頼があった学校に出向いて、手話への理解促進と普及啓発を図る。聴覚障害者のコミュニケーション方法や簡単な手話を覚えてもらう。

対象 小学校4年生又は5年生

	令和4年度実績	令和3年度実績
実施した学校数	6校	3校
参加児童数	233人	116人

④ こころのバリアフリーの推進

■ こころのバリアフリー作品展の実施

障害者週間（12月3日～12月9日）に合わせて、障害のある人とない人の相互理解や障害者のより広い社会参加を目指し、啓発活動を実施する。



【実績】

七尾市、中能登町にある障害福祉サービス事業所、精神科病院及び特別支援学校などに依頼し、各事業所等の利用者が製作した作品を展示する。

実施期間 令和4年12月3日～9日（障害者週間）

場 所 パトリア3階

	令和4年度実績	令和3年度実績
参加団体数	18団体	18団体

3-(1) 地域における活動の場づくり（基本施策）

① 通いの場の充実（取り組み）

- 地域の住民同士が気軽に集い、一緒に内容を企画し、ふれあいを通して「生きがいづくり」「仲間づくり」の輪を広げるとともに、地域の介護予防の拠点となる通いの場の充実を支援する。

② 活躍できる場の充実（取り組み）

■ 通いの場の開催支援

活動の場づくりとして、子どもからお年寄りまで集える世代間交流の場「通いの場」をさらに増やすため、取組みを支援する。

【実績】

訪問による活動支援やリーダー育成の推進
各地区での介護予防講演会等の開催の促進

	令和4年度実績	令和3年度実績
100歳体操	62か所 (68か所)	62か所
介護予防グループデイ	22か所	24か所
よりあいの場	54か所 (60か所)	54か所
みんなの広場	1か所	なし

() 令和4年度休止中の通いの場を含めた数

■ 七尾市社会福祉協議会によるよりあいの場立ち上げ助成金の交付

新しくよりあいの場を立ち上げる団体に対し、活動に使用する消耗品及び備品購入費を助成する。（ただし1件につき上限20,000円）

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
助成件数	0件	3件
助成額	0円	57,973円

3-(2) 就労・雇用の促進（基本施策）

① 高齢者の就労支援の充実（取り組み）

■ シルバー人材センターへの支援

シルバー人材センターと連携し、高齢者の豊富な知識や経験を活かせる就業の機会を提供することで、社会参加や生きがいづくりを推進するとともに、シルバー人材センターへの加入促進や就労機会の確保、拡大を支援する。

【実績】

	令和4年度実績（11月末時点）	令和3年度実績
シルバー会員数	971人	1,017人
就業延人員	50,435人	66,213人

② 障害者の就労支援の充実（取り組み）

■ 体験型職場実習制度（チャレンジワーク）の実施

七尾市・中能登町地域自立支援協議会しごとの部会において、障害者の雇用に向けた体験型職場実習制度（チャレンジワーク）の周知を図り、障害者に対する企業側の理解の促進を図る。

【実績】

	令和4年度実績	令和3年度実績
提携企業数	17社	13社
利用件数	3件	4件

③ 生活困窮者の就労支援の充実（取り組み）

■ 生活困窮者への支援（生活困窮者自立支援法）

平成27年4月「生活困窮者自立支援法」施行に伴い、関係機関や地域の方と協力し、就労相談・就労支援相談を行う。

【実績】

支援体制 2人（主任相談支援員1人、相談支援員1人（就労支援員兼務））
連携体制 ハローワークと連携し、支援調整会議にて対象者の支援計画の情報共有を行い、段階的な支援を行う。

	令和4年度実績	令和3年度実績
就労相談・就労支援相談	74件	171件

3-(3) 地域交流の促進（基本施策）

① 世代間交流の促進（取り組み）

■ 高齢者と子どものスポーツ大会

【実績】

コロナ禍により中止

■ 七尾市老人クラブ連合会による世代間交流作品展

【実績】

令和4年11月9日～11月11日 矢田郷コミュニティセンター

② 福祉関係施設と地域住民との交流促進（取り組み）

■ 福祉施設での認知症カフェの開催

コロナ禍により中止

③ 当事者同士の交流促進（取り組み）

■ 認知症高齢者等介護者への支援

認知症の方やその家族が気軽に集える認知症カフェ等を開催し、家族の介護負担の傾聴や気持ちを分かち合える場として利用を促す。

【実績】

(1) 認知症の人と家族の集い「なないろカフェ」

実施月：4月、6月、8月、10月、12月、1月、3月

場 所：寄り合い処みそぎ

	令和4年度実績	令和3年度実績
実施数	1会場 4回 利用者 46人	1会場 4回 利用者 34人

(2) 家族介護教室

介護事業者へ委託（実施事業者募集中）

(3) みんなの広場

介護保険サービスや地域活動につながらないなど、必要な支援に結びつかない高齢者等の交流の場

令和4年10月4日スタート 毎週火曜日開催

参加人数 延べ 47人（12月末現在）

七尾市健康福祉審議会地域福祉分科会 事務局職員名簿

所 属	職 名	氏 名
健康福祉部福祉課 健康福祉政策室	課 長 室 長	谷 一 勝 信
健康福祉部福祉課 健康福祉政策室	参 事 室 次 長	原 田 樹
健康福祉部福祉課 障害者福祉グループ (健康福祉政策室兼務)	課長補佐	久 水 啓 介
健康福祉部福祉課 生活援護グループ (健康福祉政策室兼務)	課長補佐	小 川 洋 一
健康福祉部子育て支援課 家庭支援グループ (健康福祉政策室兼務)	課長補佐	城 石 真
健康福祉部高齢者支援課 地域包括グループ (健康福祉政策室兼務)	課長補佐	春 木 千恵美
健康福祉部保険課 (健康福祉政策室兼務)	課長補佐	瀧 本 誓 男
健康福祉部健康推進課 健康推進グループ (健康福祉政策室兼務)	主 幹	山 崎 まり子
健康福祉部福祉課 健康福祉政策室	専 門 員	福 島 真 美
健康福祉部福祉課 健康福祉政策室	専 門 員	水 谷 尚 由
健康福祉部福祉課 健康福祉政策室	主 事	樋 爪 絢 子

(事務局)

健康福祉部福祉課健康福祉政策室

TEL 53-3625

FAX 53-5990